

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成30年5月18日
【事業年度】	第59期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）
【会社名】	株式会社 丸順
【英訳名】	MARUJUN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 齊 藤 浩
【本店の所在の場所】	岐阜県大垣市上石津町乙坂130番地1
【電話番号】	(0584)46-3191(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 青 山 秀 美
【最寄りの連絡場所】	岐阜県大垣市上石津町乙坂130番地1
【電話番号】	(0584)46-3191(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 青 山 秀 美
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成29年6月23日に提出いたしました第59期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 設備の状況

2 主要な設備の状況

3 設備の新設、除却等の計画

第4 提出会社の状況

3 配当政策

6 コーポレート・ガバナンスの状況等

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第3【設備の状況】

2【主要な設備の状況】

(訂正前)

当社グループにおける主要な設備は、以下のとおりであります。

(1) 提出会社

平成29年3月31日現在

事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	帳簿価額(百万円)						従業員数 (人)
			建物 及び構築物	機械装置 及び運搬具	土地 (面積千㎡)	リース資産	その他	合計	
本社・上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品、金型製造 設備	1,181	359	4 (1) [64]	36	1,022	2,604	209
浅西工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造設備	50	90	74 (6) [3]	26	506	749	45
養老工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品、精密プレ ス部品、試作 品その他製造 設備	112	131	173 (14) [-]	-	86	504	41
埼玉工場 (埼玉県鶴ヶ島市)	丸順	車体プレス部 品製造設備	8	142	- (-) [6]	45	55	251	12

(注) 1 帳簿価額のうち「その他」は、工具、器具及び備品並びに建設仮勘定の合計であります。なお、金額には消費税等を含んでおりません。

2 土地及び建物の一部を賃借しております。年間賃借料は30百万円であります。土地の面積については [] で外書きしております。

<省略>

(訂正後)

当社グループにおける主要な設備は、以下のとおりであります。

(1) 提出会社

平成29年3月31日現在

事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	帳簿価額(百万円)						従業員数 (人)
			建物 及び構築物	機械装置 及び運搬具	土地 (面積千㎡)	リース資産	その他	合計	
本社・上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品、金型製造 設備	1,181	359	4 (1) [64]	36	1,022	2,604	209
浅西工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造設備	50	90	74 (6) [3]	26	506	749	45
養老工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品、精密プレ ス部品、試作 品その他製造 設備	112	131	173 (14) [-]	-	86	504	41
埼玉工場 (埼玉県鶴ヶ島市)	丸順	車体プレス部 品製造設備	8	142	- (-) [6]	45	55	251	12

(注) 1 帳簿価額のうち「その他」は、工具、器具及び備品並びに建設仮勘定の合計であります。なお、金額には消費税等を含んでおりません。

2 土地及び建物の一部を賃借しております。年間賃借料は79百万円であります。土地の面積については [] で外書きしております。

<省略>

3【設備の新設、除却等の計画】

(訂正前)

(1) 重要な設備の新設等

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
株式会社 丸順	上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	3,201	592	自己資金 借入金	平成27年3月	平成35年4月	生産機種の 拡大及び変 更
	上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造設備	729	二	自己資金 借入金 リース	平成29年4月	平成36年3月	生産機種の 変更及び合 理化
	上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	金型製造設備	547	一	自己資金 借入金 リース	平成29年5月	平成40年10月	生産機種の 拡大及び変 更
	養老工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造設備	470	二	自己資金 借入金	平成29年4月	平成35年3月	生産機種の 変更及び合 理化
広州丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共 和国広東省広 州市)	広州	車体プレス部 品製造用金型 等	2,307	895	自己資金 借入金	平成27年9月	平成32年1月	生産機種の 拡大及び変 更
武漢丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共 和国湖北省武 漢市)	武漢	車体プレス部 品製造用金型 等	4,536	739	自己資金 借入金	平成27年9月	平成35年12月	生産機種の 拡大及び変 更

<省略>

(訂正後)

(1) 重要な設備の新設等

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
株式会社 丸順	上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	3,201	717	自己資金 借入金	平成27年3月	平成35年4月	生産機種の 拡大及び変 更
	上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造設備	729	8	自己資金 借入金 リース	平成29年4月	平成36年3月	生産機種の 変更及び合 理化
	上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	金型製造設備	547	一	自己資金 借入金 リース	平成29年5月	平成40年10月	生産機種の 拡大及び変 更
	養老工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造設備	470	28	自己資金 借入金	平成29年4月	平成35年3月	生産機種の 変更及び合 理化
広州丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共 和国広東省広 州市)	広州	車体プレス部 品製造用金型 等	2,307	854	自己資金 借入金	平成27年9月	平成32年1月	生産機種の 拡大及び変 更
武漢丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共 和国湖北省武 漢市)	武漢	車体プレス部 品製造用金型 等	4,536	732	自己資金 借入金	平成27年9月	平成35年12月	生産機種の 拡大及び変 更

<省略>

第4【提出会社の状況】

3【配当政策】

(訂正前)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つと考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った成果配分を行うことを基本方針としております。

当期におきましては、前期に引き続き「丸順構造改革プラン」を推進しており、早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、誠に遺憾ながら、当期における年間配当は無配とさせていただきます。

また、株主優待制度につきまして、昨今の厳しい経営状況を踏まえ、今期中止とさせていただきます。

次期における配当につきましては、当期同様に早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、中間は無配、期末は未定とさせていただきます。

なお、当社は中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。

(訂正後)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つと考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った成果配分を行うことを基本方針としております。

当期におきましては、前期に引き続き「丸順構造改革プラン」を推進しており、早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、誠に遺憾ながら、当期における年間配当は無配とさせていただきます。

また、株主優待制度につきまして、昨今の厳しい経営状況を踏まえ、今期中止とさせていただきます。

次期における配当につきましては、当期同様に早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、中間は無配、期末は未定とさせていただきます。内部留保金につきましては、今後の事業展開への備えと研究開発資金として投入していくこととしております。

なお、当社は取締役会の決議によって、毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。

6 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(訂正前)

<省略>

(3) 役員報酬等の内容

① 提出会社の役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額及び対象となる役員の員数

	取締役（社外取締役を除く）		監査役（社外監査役を除く）		社外役員		報酬等の種類別の総額
	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	
定款又は株主総会決議に基づく報酬	4	37	2	8	2	1	47
ストックオプション	—	—	—	—	—	—	—
賞与及び退職慰労金等	1	1	—	—	—	—	1
報酬等の総額	38		8		1		48

<省略>

(訂正後)

<省略>

(3) 役員報酬等の内容

① 提出会社の役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額及び対象となる役員の員数

	取締役（社外取締役を除く）		監査役（社外監査役を除く）		社外役員		報酬等の種類別の総額
	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	
定款又は株主総会決議に基づく報酬	4	37	1	1	3	8	47
ストックオプション	—	—	—	—	—	—	—
賞与及び退職慰労金等	1	1	—	—	—	—	1
報酬等の総額	38		1		8		48

<省略>

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成30年5月18日
【事業年度】	第58期（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）
【会社名】	株式会社 丸順
【英訳名】	MARUJUN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 齊 藤 浩
【本店の所在の場所】	岐阜県大垣市上石津町乙坂130番地1
【電話番号】	(0584)46-3191(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 青 山 秀 美
【最寄りの連絡場所】	岐阜県大垣市上石津町乙坂130番地1
【電話番号】	(0584)46-3191(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 青 山 秀 美
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成28年6月24日に提出いたしました第58期（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 設備の状況

3 設備の新設、除却等の計画

第4 提出会社の状況

3 配当政策

6 コーポレート・ガバナンスの状況等

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第3【設備の状況】

3【設備の新設、除却等の計画】

(訂正前)

(1) 重要な設備の新設等

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
株式会社 丸順	上石津工場 (岐阜県大垣 市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	5,333	677	自己資金 借入金	平成26年6月	平成35年4月	生産機種の 拡大及び変 更
タイ・マ ルジュン 社	本社工場 (タイ王国サラ ブリ県ノンケ イ郡)	タイ	車体プレス部 品製造設備	1,204	31	自己資金 借入金	平成27年3月	平成34年12月	生産機種の 変更及び合 理化
	本社工場 (タイ王国サラ ブリ県ノンケ イ郡)	タイ	車体プレス部 品製造用金型 等	4,465	-	自己資金 借入金	平成28年1月	平成35年2月	生産機種の 拡大及び変 更
広州丸順 汽車配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国広東省広州 市)	広州	車体プレス部 品製造用金型 等	4,125	1,256	自己資金 借入金	平成26年2月	平成30年8月	生産機種の 拡大及び変 更
	本社工場 (中華人民共和 国広東省広州 市)	広州	車体プレス部 品製造設備	549	451	自己資金 借入金	平成28年1月	平成28年12月	生産機種の 変更及び合 理化
武漢丸順 汽車配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国湖北省武漢 市)	武漢	車体プレス部 品製造用金型 等	6,015	108	自己資金 借入金	平成27年9月	平成34年12月	生産機種の 拡大及び変 更
	本社工場 (中華人民共和 国湖北省武漢 市)	武漢	車体プレス部 品製造設備	685	-	自己資金 借入金	平成28年1月	平成34年12月	生産機種の 変更及び合 理化

<省略>

(訂正後)

(1) 重要な設備の新設等

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
株式会社 丸順	上石津工場 (岐阜県大垣 市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	5,333	464	自己資金 借入金	平成26年6月	平成35年4月	生産機種の 拡大及び変 更
タイ・マ ルジュン 社	本社工場 (タイ王国サラ ブリ県ノンケ イ郡)	タイ	車体プレス部 品製造設備	1,204	二	自己資金 借入金	平成27年3月	平成34年12月	生産機種の 変更及び合 理化
	本社工場 (タイ王国サラ ブリ県ノンケ イ郡)	タイ	車体プレス部 品製造用金型 等	4,465	-	自己資金 借入金	平成28年1月	平成35年2月	生産機種の 拡大及び変 更
広州丸順 汽車配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国広東省広州 市)	広州	車体プレス部 品製造用金型 等	4,125	1,217	自己資金 借入金	平成26年2月	平成30年8月	生産機種の 拡大及び変 更
	本社工場 (中華人民共和 国広東省広州 市)	広州	車体プレス部 品製造設備	549	451	自己資金 借入金	平成28年1月	平成28年12月	生産機種の 変更及び合 理化
武漢丸順 汽車配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国湖北省武漢 市)	武漢	車体プレス部 品製造用金型 等	6,015	191	自己資金 借入金	平成27年9月	平成34年12月	生産機種の 拡大及び変 更
	本社工場 (中華人民共和 国湖北省武漢 市)	武漢	車体プレス部 品製造設備	685	-	自己資金 借入金	平成28年1月	平成34年12月	生産機種の 変更及び合 理化

<省略>

第4【提出会社の状況】

3【配当政策】

(訂正前)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つと考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った成果配分を行うことを基本方針としております。

当期におきましては、「丸順構造改革プラン」の推進にあたり発生した減損損失及び事業構造改善費用等の計上により、依然として厳しい財政状態が続いております。早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、誠に遺憾ながら、当期における年間配当は無配とさせていただきます。

また、株主優待制度につきまして、前期より廃止とさせていただいておりますが、昨今の厳しい経営状況を踏まえ、今期も廃止とさせていただきます。

なお、翌期における配当につきましても、当期同様に早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、中間、期末共に無配とさせていただきます。

(修正後)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つと考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った成果配分を行うことを基本方針としております。

当期におきましては、「丸順構造改革プラン」の推進にあたり発生した減損損失及び事業構造改善費用等の計上により、依然として厳しい財政状態が続いております。早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、誠に遺憾ながら、当期における年間配当は無配とさせていただきます。

また、株主優待制度につきまして、前期より廃止とさせていただいておりますが、昨今の厳しい経営状況を踏まえ、今期も廃止とさせていただきます。

なお、翌期における配当につきましても、当期同様に早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、中間、期末共に無配とさせていただきます。内部留保金につきましては、今後の事業展開への備えと研究開発資金として投入していくこととしております。

なお、当社は取締役会の決議によって、毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。

6 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(訂正前)

<省略>

(3) 役員報酬等の内容

① 提出会社の役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額及び対象となる役員の員数

	取締役（社外取締役を除く）		監査役（社外監査役を除く）		社外役員		報酬等の種類別の総額
	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	
定款又は株主総会決議に基づく報酬	8	41	2	1	4	10	53
ストックオプション	-	-	-	-	-	-	-
賞与及び退職慰労金等	2	5	2	3	2	2	8
報酬等の総額	47		4		10		61

<省略>

(修正後)

<省略>

(3) 役員報酬等の内容

① 提出会社の役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額及び対象となる役員の員数

	取締役（社外取締役を除く）		監査役（社外監査役を除く）		社外役員		報酬等の種類別の総額
	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	支給人員 (人)	支給額 (百万円)	
定款又は株主総会決議に基づく報酬	8	41	2	1	4	10	53
ストックオプション	-	-	-	-	-	-	-
賞与及び退職慰労金等	2	5	1	0	1	2	8
報酬等の総額	46		1		13		61

<省略>

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成30年5月18日
【事業年度】	第57期（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）
【会社名】	株式会社 丸順
【英訳名】	MARUJUN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 齊 藤 浩
【本店の所在の場所】	岐阜県大垣市上石津町乙坂130番地1
【電話番号】	(0584)46-3191(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 青 山 秀 美
【最寄りの連絡場所】	岐阜県大垣市上石津町乙坂130番地1
【電話番号】	(0584)46-3191(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 青 山 秀 美
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年6月26日に提出いたしました第57期（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 設備の状況

3 設備の新設、除却等の計画

第4 提出会社の状況

3 配当政策

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第3【設備の状況】

3【設備の新設、除却等の計画】

(訂正前)

(1) 重要な設備の新設等

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
株式会社 丸順	上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	2,305	902	自己資金 借入金	平成25年10月	平成29年9月	生産機種 の変更
タイ・マ ルジュン 社	サハ工場 (タイ王国アユ タヤ県ナコーン ルアグ郡)	タイ	金型製造設備	578	-	自己資金 借入金	平成26年12月	平成29年12月	生産能力の 拡大及び合 理化
	本社工場 (タイ王国サラ ブリ県ノンケー 郡)	タイ	プレス部品用 金型	3,528	-	自己資金 借入金	平成26年5月	平成29年9月	生産機種の 拡大及び変 更
広州丸順 汽車配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国広東省広州 市)	広州	車体プレス部 品製造用金型 等	9,306	1,368	自己資金 借入金	平成25年3月	平成32年1月	生産機種の 拡大及び変 更
	本社工場 (中華人民共和 国広東省広州 市)	広州	車体プレス部 品製造設備	1,402	129	自己資金 借入金	平成26年10月	平成29年10月	生産機種の 変更及び合 理化
武漢丸順 汽車配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国湖北省武漢 市)	武漢	車体プレス部 品製造設備	1,695	141	自己資金 借入金	平成26年5月	平成27年12月	生産機種の 変更及び合 理化
インディ アナ・マ ルジュン 社	本社工場 (アメリカ合衆 国インディアナ 州ウインチ ェスター市)	インディ アナ	車体プレス部 品製造設備	3,271	二	自己資金 借入金	平成27年3月	平成29年1月	生産機種の 変更及び合 理化

<省略>

(訂正後)

(1) 重要な設備の新設等

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
株式会社丸順	上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	2,305	535	自己資金 借入金	平成25年10月	平成29年9月	生産機種 の変更
タイ・マ ルジュン 社	サハ工場 (タイ王国アユ タヤ県ナコーン ルアグ郡)	タイ	金型製造設備	578	-	自己資金 借入金	平成26年12月	平成29年12月	生産能力の 拡大及び合 理化
	本社工場 (タイ王国サラ ブリ県ノンケー 郡)	タイ	プレス部 品用 金型	3,528	-	自己資金 借入金	平成26年5月	平成29年9月	生産機種 の拡大及び 変更
広州丸順 汽車配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国広東省広州 市)	広州	車体プレス部 品製造用金型 等	9,306	807	自己資金 借入金	平成25年3月	平成32年1月	生産機種 の拡大及び 変更
	本社工場 (中華人民共和 国広東省広州 市)	広州	車体プレス部 品製造設備	1,402	402	自己資金 借入金	平成26年10月	平成29年10月	生産機種 の変更及び 合理化
武漢丸順 汽車配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国湖北省武漢 市)	武漢	車体プレス部 品製造設備	1,695	310	自己資金 借入金	平成26年5月	平成27年12月	生産機種 の変更及び 合理化
インディ アナ・マ ルジュン 社	本社工場 (アメリカ合衆 国インディアナ 州ウインチ ェスター市)	インディ アナ	車体プレス部 品製造設備	3,271	342	自己資金 借入金	平成27年3月	平成29年1月	生産機種 の変更及び 合理化

<省略>

第4【提出会社の状況】

3【配当政策】

(訂正前)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つと考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った成果配分を行うことを基本方針としております。

当期におきましては、北米事業における労務関係コストや品質保証コストの増加やアジア事業における客先減産による固定費負担増加等もあり、業績動向、財政状態等が著しく悪化いたしました。このような理由により、誠に遺憾ながら、当期における年間配当金は無配とさせていただきます。

また、株主優待制度につきましても昨今の当社の厳しい経営状況を踏まえ、早期に財政状態の健全化を目指すという観点から、廃止とさせていただきます。

なお、次期における配当につきましても、依然として厳しい経営状況が続くと考えられることなどから、中間は無配、期末については現時点では未定とし、業績動向等を総合的に勘案し、あらためてお知らせいたします。

(訂正後)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つと考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った成果配分を行うことを基本方針としております。

当期におきましては、北米事業における労務関係コストや品質保証コストの増加やアジア事業における客先減産による固定費負担増加等もあり、業績動向、財政状態等が著しく悪化いたしました。このような理由により、誠に遺憾ながら、当期における年間配当金は無配とさせていただきます。

また、株主優待制度につきましても昨今の当社の厳しい経営状況を踏まえ、早期に財政状態の健全化を目指すという観点から、廃止とさせていただきます。

なお、次期における配当につきましても、依然として厳しい経営状況が続くと考えられることなどから、中間は無配、期末については現時点では未定とし、業績動向等を総合的に勘案し、あらためてお知らせいたします。内部留保金につきましても、今後の事業展開への備えと研究開発資金として投入していくこととしております。

なお、当社は取締役会の決議によって、毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成30年5月18日
【事業年度】	第56期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）
【会社名】	株式会社 丸順
【英訳名】	MARUJUN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 齊 藤 浩
【本店の所在の場所】	岐阜県大垣市上石津町乙坂130番地1
【電話番号】	(0584)46-3191(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 青 山 秀 美
【最寄りの連絡場所】	岐阜県大垣市上石津町乙坂130番地1
【電話番号】	(0584)46-3191(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 青 山 秀 美
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年6月27日に提出いたしました第56期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 設備の状況

3 設備の新設、除却等の計画

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第3【設備の状況】

3【設備の新設、除却等の計画】

(訂正前)

(1) 重要な設備の新設等

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
株式会社 丸順	浅西工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	1,828	615	自己資金 借入金	平成25年1月	平成27年10月	生産機種 の変更及び合 理化
	上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造設備	3,248	—	自己資金 借入金 リース	平成26年4月	平成29年3月	生産機種 の変更及び合 理化
	埼玉工場 (埼玉県鶴ヶ島市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	742	—	自己資金 借入金 リース	平成26年4月	平成27年3月	工場の新設 生産機種 の変更及び合 理化
タイ・マ ルジュン 社	本社工場 (タイ王国 サラブリー県ノ ンケイ郡)	タイ	工場新設及び 車体プレス部 品製造設備	4,297	1,807	自己資金 借入金	平成23年12月	平成28年12月	工場の新設 及び合理化
広州丸順 汽車配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国広東省広州 市)	広州	車体プレス部 品製造用金型 等	6,161	1,043	自己資金 借入金	平成25年1月	平成28年12月	生産機種 の変更及び合 理化
			車体プレス部 品製造設備	3,663	886	自己資金 借入金	平成24年12月	平成28年12月	生産機種 の変更及び合 理化
武漢丸順 汽車配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国湖北省武漢 市)	武漢	車体プレス部 品製造用金型 等	1,312	108	自己資金 借入金	平成25年9月	平成27年12月	生産機種 の変更及び合 理化
			車体プレス部 品製造設備	2,419	88	自己資金 借入金	平成25年11月	平成27年10月	生産機種 の変更及び合 理化
インディ アナ・マ ルジュン 社	本社工場 (アメリカ合衆 国インディア ナ州ウインチ ェスター市)	インディ アナ	車体プレス部 品製造用金型 等	2,140	109	自己資金 借入金	平成27年1月	平成29年9月	生産機種 の変更及び合 理化
			車体プレス部 品製造設備	3,718	340	自己資金 借入金	平成26年3月	平成29年9月	生産機種 の変更及び合 理化

<省略>

(訂正後)

(1) 重要な設備の新設等

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
株式会社 丸順	浅西工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	1,828	470	自己資金 借入金	平成25年1月	平成27年10月	生産機種の変更及び合理化
	上石津工場 (岐阜県大垣市)	丸順	車体プレス部 品製造用設備	3,248	11	自己資金 借入金 リース	平成26年4月	平成29年3月	生産機種の変更及び合理化
	埼玉工場 (埼玉県鶴ヶ島市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	742	—	自己資金 借入金 リース	平成26年4月	平成27年3月	工場の新設 生産機種の変更及び合理化
タイ・マル ジュン社	本社工場 (タイ王国 サラブリー県ノ ンケイ郡)	タイ	工場新設及び 車体プレス部 品製造設備	4,297	2,338	自己資金 借入金	平成23年12月	平成28年12月	工場の新設 及び合理化
広州丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国広東省広州市)	広州	車体プレス部 品製造用金型 等	6,161	1,883	自己資金 借入金	平成25年1月	平成28年12月	生産機種の変更及び合理化
			車体プレス部 品製造設備	3,663	1,403	自己資金 借入金	平成24年12月	平成28年12月	生産機種の変更及び合理化
武漢丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共和 国湖北省武漢市)	武漢	車体プレス部 品製造用金型 等	1,312	0	自己資金 借入金	平成25年9月	平成27年12月	生産機種の変更及び合理化
			車体プレス部 品製造設備	2,419	104	自己資金 借入金	平成25年11月	平成27年10月	生産機種の変更及び合理化
インディ アナ・マル ジュン社	本社工場 (アメリカ合衆 国インディア ナ州ウインチ ェスター市)	インディ アナ	車体プレス部 品製造用金型 等	2,140	261	自己資金 借入金	平成27年1月	平成29年9月	生産機種の変更及び合理化
			車体プレス部 品製造設備	3,718	471	自己資金 借入金	平成26年3月	平成29年9月	生産機種の変更及び合理化

<省略>

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成30年5月18日
【事業年度】	第55期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）
【会社名】	株式会社 丸順
【英訳名】	MARUJUN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 齊 藤 浩
【本店の所在の場所】	岐阜県大垣市上石津町乙坂130番地1
【電話番号】	(0584)46-3191(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 青 山 秀 美
【最寄りの連絡場所】	岐阜県大垣市上石津町乙坂130番地1
【電話番号】	(0584)46-3191(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 青 山 秀 美
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年6月21日に提出いたしました第55期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 設備の状況

3 設備の新設、除却等の計画

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第3【設備の状況】

3【設備の新設、除却等の計画】

(訂正前)

(1) 重要な設備の新設等

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
株式会社 丸順	浅西工場 (岐阜県大垣 市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	2,537	795	自己資金 借入金	平成24年1月	平成26年11月	生産機種 の変更及び合 理化
タイ・マ ルジュン 社	工場 (タイ王国サ ラブリ県ノン ケイ郡)	タイ	工場新設及び 車体プレス部 品製造設備	2,886	517	自己資金 借入金	平成24年11月	平成26年6月	工場の新設
広州丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共 和国広東省広 州市)	広州	車体プレス部 品製造用金型 等	3,291	13	自己資金 借入金	平成24年1月	平成26年11月	生産機種 の変更及び合 理化
広州丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共 和国広東省広 州市)	広州	車体プレス部 品製造設備	2,198	610	自己資金 借入金	平成24年10月	平成26年1月	(注)
武漢丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共 和国湖北省武 漢市)	武漢	車体プレス部 品製造用金型 等	849	二	自己資金 借入金	平成24年7月	平成26年4月	生産機種 の変更及び合 理化
インディ アナ・マ ルジュン 社	本社 (アメリカ合衆 国インディア ナ州ウインチ ェスター市)	インディ アナ	車体プレス部 品製造用金型 等	948	109	自己資金 借入金	平成24年12月	平成27年7月	生産機種 の変更及び合 理化
インディ アナ・マ ルジュン 社	本社 (アメリカ合衆 国インディア ナ州ウインチ ェスター市)	インディ アナ	車体プレス部 品製造設備	1,242	0	自己資金 借入金	平成25年4月	平成27年7月	(注)

(注) 生産能力増強を目的とするものでありますが、完成後の増加能力は合理的に算出することが困難なため、記載を省略しております。

<省略>

(訂正後)

(1) 重要な設備の新設等

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
株式会社 丸順	浅西工場 (岐阜県大垣 市)	丸順	車体プレス部 品製造用金型 等	2,537	425	自己資金 借入金	平成24年1月	平成26年11月	生産機種 の変更及び合 理化
タイ・マ ルジュン 社	工場 (タイ王国サ ラブリ県ノン ケイ郡)	タイ	工場新設及び 車体プレス部 品製造設備	2,886	517	自己資金 借入金	平成24年11月	平成26年6月	工場の新設
広州丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共 和国広東省広 州市)	広州	車体プレス部 品製造用金型 等	3,291	796	自己資金 借入金	平成24年1月	平成26年11月	生産機種 の変更及び合 理化
広州丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共 和国広東省広 州市)	広州	車体プレス部 品製造設備	2,198	78	自己資金 借入金	平成24年10月	平成26年1月	(注)
武漢丸順 汽车配件 有限公司	本社工場 (中華人民共 和国湖北省武 漢市)	武漢	車体プレス部 品製造用金型 等	849	204	自己資金 借入金	平成24年7月	平成26年4月	生産機種 の変更及び合 理化
インディ アナ・マ ルジュン 社	本社 (アメリカ合衆 国インディア ナ州ウインチ ェスター市)	インディ アナ	車体プレス部 品製造用金型 等	948	294	自己資金 借入金	平成24年12月	平成27年7月	生産機種 の変更及び合 理化
インディ アナ・マ ルジュン 社	本社 (アメリカ合衆 国インディア ナ州ウインチ ェスター市)	インディ アナ	車体プレス部 品製造設備	1,242	23	自己資金 借入金	平成25年4月	平成27年7月	(注)

(注) 生産能力増強を目的とするものでありますが、完成後の増加能力は合理的に算出することが困難なため、記載を省略しております。

<省略>